



事務所 伊那市西町5016-2 Tel.(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 Tel(78)1121

会長 小河節郎 幹事 鈴木正比古 会報委員長 八木沢真 第3070回 例会2025.7.17 No.1670

UNITE
FOR
GOODRotary Rotary 
第2600地区よいこと
のために
手を取りあおう**ソング** 我らの生業
会長談話 小河節郎会長

梅雨もまもなく明け、夏本番となります。8月から9月にかけて、台風シーズンに入るわけですが、最近の洪水は、ゲリラ豪雨、局所的な大雨が特徴ですが、10日ほど前には茅野市を中心とした大雨は、テレビなどの報道機関で知った程度でしたが、大変な豪雨だったとのことでした。また、2019年の猛烈な風雨を伴う台風19号が県内に最接近し、一夜明けた13日、千曲川流域で氾濫被害が広がり、県内では各所の堤防が決壊し、家屋が濁流にのみこまれ、多くの死者が出ています。長野市付近は雨が降っていないのに、千曲川上流の川上村などは猛烈な豪雨であり、知らなかった下流の方々は避難が遅れ、甚大な災害となったわけです。

私は2006年7月18～19日にかけての大洪水が記憶にのこります。18日夜半から19日にかけて降った雨の総雨量は391mmとなり、7月の雨量が203mmなので、その2倍の大雨が1晩で降ったこととなります。多分伊那市より南の方々はあまり記憶にないと思いますが、この豪雨は岡谷から上伊那北部の竜東で集中豪雨となり、岡谷の港地区、上野原地区、橋原地区そして箕輪町北小河内地区はゲリラ豪雨となり、甚大な豪雨災害がでています。私は朝起きて窓からの風景に目を疑いました。段差のある水田が一面豪雨による大雨で湖になっているのです。山あいの集落の土砂が流木と供に埋まり、各家屋には土砂が流れ込み、道路や河川は寸断されていました。こんな光景はテレビでしか見たことがなく、生まれて初めての経験でした。この時期こういった災害が頻繁に発生するのではな



いかと危惧しているところです。

私は建築設計事務所を営んでいます。比較的大きな物件が多く、造成など土木設計も関連するので、その辺をお話したいと思います。

建物を建築するのに伴う一定規模以上の土地造成には、開発許可が必要です。これは豪雨などによる雨水を敷地の外に出さないことが主な目的ですが、雨量計算には舗装や緑地などの地形別の流出係数が大きく影響します。建物の屋根や駐車場などの舗装部分に降った雨水量は、その90%が流出、緑地や畑に降った雨はその15%程度が流出されます。次に確率という数字を掛けて最大降雨量を算定するわけですが、民間の開発許可は15年確率、付近の河川は20～80年確率、天竜川は100年確率となり15年確率は15年毎に起こりうる災害に、100年確率は100年に1回起こりうる災害に対応する数字です。したがって、一般の造成地は15年毎に氾濫することになりますし、天竜川は100年に一回の大災害に耐えることとなります。その天竜川が平成18年の豪雨で氾濫し、堤防が決壊しました。「災害は忘れたころにやってくる」です。

近年は地球温暖化の影響で、自然災害が世界規模で増加しています。私達は、いつでもどこでも豪雨災害が起こることを認識し、常に注意していることが必要ではないでしょうか。

ご挨拶**伊那中央RC会長 井上修様**

伊那中央RCの会長を拝命致しました井上でございます。当クラブは伊那クラブの藤澤今正様が提唱され、創立39期目を迎えます。創って頂いた恩に感謝しつつ、親クラブの品位を損なわぬよう努めて参ります。格段のご指導ご鞭撻をお願い



致します。

新年度が始まり、昨日7月15日、特別例会を実施致し、東京の丸紅株式会社、東京 RC を訪問して参りました。世界視野で活躍する商社の逞しさに触れ、大いに学ばせて頂きました。また、東京 RC の例会では200人弱の参加者で、20テーブルに我々は二人ずつ入れて頂き、各界の著名人等と（元大臣、上場会社の役員、各種団体役員、アルゼンチン大使等々）交流をさせて頂き、大いに刺激され帰って参りました。皆でこの機会をロータリークラブ活動に生かしていこうと話し合いました。また、今年は衛星クラブを立ち上げます。事業継承するので、ロータリーは退会するが、ロータリー活動に関わって行きたいという志ある方々が参集され、活動を始められます。本会も応援・支援して参ります。

伊那中央 RC 幹事 加藤 篤 様

皆様こんにちは。今年度伊那中央 RC 幹事を務めます加藤篤と申します。職業分類は保険業ですが、前職は伊那 RC 様の会員で、アルプス中央信用金庫原理事長がお世話になっておりますが、その信用金庫で働いておりました。それ故、伊那 RC の会員の中にも存じ上げている方が多いので、本日は楽しみにお邪魔いたしました。



スポンサークラブの皆様には、伊那中央 RC 井上会長年度が無事1年間の活動ができます様、一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

本日はお招きいただき、誠にありがとうございました。

幹事報告 別紙をご覧ください

出席報告 会員数49名 内出席免除者17名
出席者29名 事前メーキャップ0名 出席率80.00%

ニコニコボックス

- ・小河節郎 伊那中央 RC 井上様、加藤様、ようこそおいいただきました。
- ・山田 益 2年間お世話になりました。役員・理事退任です。
- ・藤澤秀敬 7月15日(火)事務局にて監査を行いました。役員の皆様、おつかれ様でした。
- ・大石ひとみ 今週末、宮田村は祇園祭です。私もビールを売っていますので是非お越し下さい。
- ・ゴルフ部年間上位入賞者

委員会報告 【ロータリーの友】7月号紹介

母子の健康月間 本郷一博副会長
表紙には、2025-26年度の国際ロータリー会長メッセージ “UNITE FOR GOOD, よいことのために

手を取りあおう)” がデザイン画とともに掲げられ、新年度の始まりを感じさせます。

横組みでは、P6~23 にかけて、2025-26年度の日本全34地区のガバナーが「横顔」として紹介されています。私ども第2600地区からは、松本南ロータリークラブの小林磨史ガバナーが登場。「世代を超えてつなぐもの」と題し、2世・3世会員が多く在籍するクラブの特徴を紹介。家族ぐるみの交流が生まれ、世代を超えたロータリーの絆が築かれている様子が伝わってきます。



P28~33の特集「母子の健康月間」では、女性の健康と尊厳を守る国際的な取り組みが紹介されています。たとえば、インドのインターアクターが手作りした生理用品を地域の女性たちに配布している事例や、平塚湘南 RC・平塚北 RC のそれぞれの女性会長が連携し、タンザニアで生理用品工場を設立し、生理用品の無料配布および雇用を創出している、日本人女性の活動を支援している事例など、ロータリアンの国際的な社会貢献が印象的に紹介されています。

縦組みでは、P4~8の「SPEECH」欄には、NPO法人「虹色のかさ」理事長・高橋知之氏による講演「ヤングケアラーを知ろう こどもが頼れる地域社会づくり」の要旨が掲載されています。ヤングケアラーの定義が2024年6月の法改正により「過度に家族の介護や世話を担っている子ども・若者」と明確化されました。見過ごされがちなこの社会問題に対し、「まず気づくこと」「声をかけること」、そして「大人が動いている姿を見せること」の大切さなどが語られています。

P9~12の「この人訪ねて」では、和歌山南 RC の伊良波範子さんが紹介されています。精神科医でありながら、三味線を奏で、ジャズボーカリストとしてCDもリリースされる多才な方です。38歳で医師資格を取得し、現在は精神科・心療内科クリニックを開業。診療は常に和服姿で行い、患者さんに安心感を与えているとのこと。「人が本来持っている修復力を引き出したい」という言葉が印象的です。地元ではイベントも企画・開催するなど、その行動力には目を見張るものがあります。以上、読みごたえのある記事が満載の7月号。ぜひお読みください。

委員会事業計画発表

各員会委員長より、66年度の事業計画が発表された。